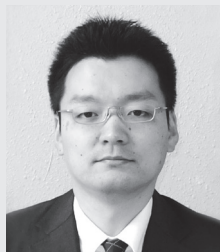


輸血・細胞医療部

スタッフ紹介



部長
しむら ゆうじ
志村 勇司
(輸血・細胞医療部 准教授)

臨床検査技師 (係長)

臨床検査技師

臨床検査技師

臨床検査技師

臨床検査技師

臨床検査技師

臨床検査技師

臨床検査技師

いのうえ 井上 寛之
ふるや 古屋 智子
やすもと 安本 都和
いまいし 今西 唯
くにかと 國門 里咲
たしろ 田代 遥香
ごとう 後藤 光里
どい まゆみ 土井 真由美

私たちの業務

◆ 専門スタッフによる安全で効果的な輸血

日本輸血・細胞治療学会及び日本認定輸血検査技師制度協議会が認定する医師・技師・看護師の研修指定施設であり、輸血認定医、認定看護師および認定輸血検査技師が、安全で効果的な輸血医療を提供します。輸血には主として「日赤血」を用いていますが、可能な場合は「自己血」輸血を行います。これらの血液は、24時間集中温度監視システムを備えた血液専用保冷庫において一元管理され、輸血に関わる様々なリスクを回避するために、輸血に至るまでの多くの段階において安全対策が施されています。夜間や休日の緊急輸血に対しては、一般臨床検査の緊急体制とは別個に独立した技師当直体制を整え、24時間輸血検査体制を確立しています。臨床検査部および病院病理部と共同で国際認定ISO15189を取得し、品質保証された精度の高い輸血検査であることが認められました。また、必要に応じて分割・合成血などを個別に準備します。さらに、院内で使用される全てのアルブミン製剤の保管・管理・供給を輸血・細胞医療部にて行い、適正使用の徹底に努めております。定期的に開催される院内輸血療法委員会では、各診療科へ輸血療法の指針の周知徹底を図ることで、より安全で効果的な輸血をめざしています。

◆ 先端的細胞医療への対応

連続血液成分分離装置を用いた豊富な細胞採取経験、長年にわたり蓄積された細胞分離濃縮や冷凍保存などの技術を活かし、骨髄移植、末梢造血幹細胞移植、血管再生医療、免疫療法などの先端的細胞医療に必要な移植細胞を提供しています。これらの作業は細胞治療認定管理師として学会より認定を受けた医師と技師が中心となって実施しています。近年では遺伝子改変T細胞療法の治療施設として、ノバルティスファーマ株式会社のキムリア、プリストル・マイヤーズ・スクイブ株式会社のアベクマおよびブレヤンジ、ギリアド・サイエンシズ株式会社のイエスカルタに関して当施設が認定されています。細胞治療を受ける患者が着実に増加しており、当院での細胞治療の土台を支えるため、スタッフ一同で体制の充実をはかっています。

府立医大 輸血・細胞医療部 TEL 075-251-5891 (輸血検査室)